

Q&A

良くある質問にお答えします。

問：末期がんの患者でもいいのですか？

答：もちろんです。

現在は、在宅でもかなり高度な医療機器が使用できますので、入院レベルの医療が受けられると考えて下さい。

問：電話をかけたら、いつでもすぐに来てくれるのですか？

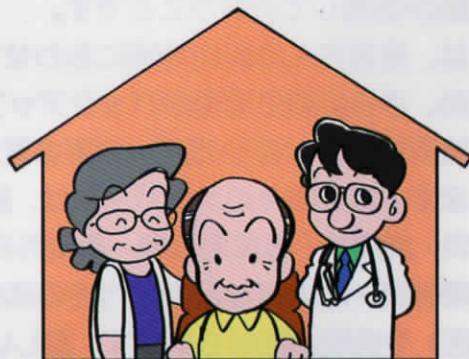
答：私たちは、在宅診療もする開業医の集まりです。診療所で外来診療もやってますし、夜に当直医がいるわけでもありません。そのため、緊急時以外はいつでもすぐに訪問できるとは限りません。ただ電話対応はできますので、判断は私たちにまかせて下さい。

問：特別なお金がいるの？

答：普通の保険診療の値段です。
特別な費用はかかりません。

問：やっぱり入院したいと思ったら？

答：在宅療養に切り替えたからと言って、最後まで在宅という意味ではありません。いつでも方針の変更は可能です。在宅に移行しても病院医師と連携をとっているのもそのためです。



【お問い合わせ】

NPO法人 長崎在宅Dr.ネット事務局

〒850-0022 長崎市馬町21-1 B-13
(長崎市市民活動センター「ランタナ」2階)

TEL : 095-811-5120

FAX : 095-811-5121

E-mail : dr.net@mxm.cncm.ne.jp

URL : http://doctor-net.or.jp/

在宅療養の お手伝いをします。



NPO法人

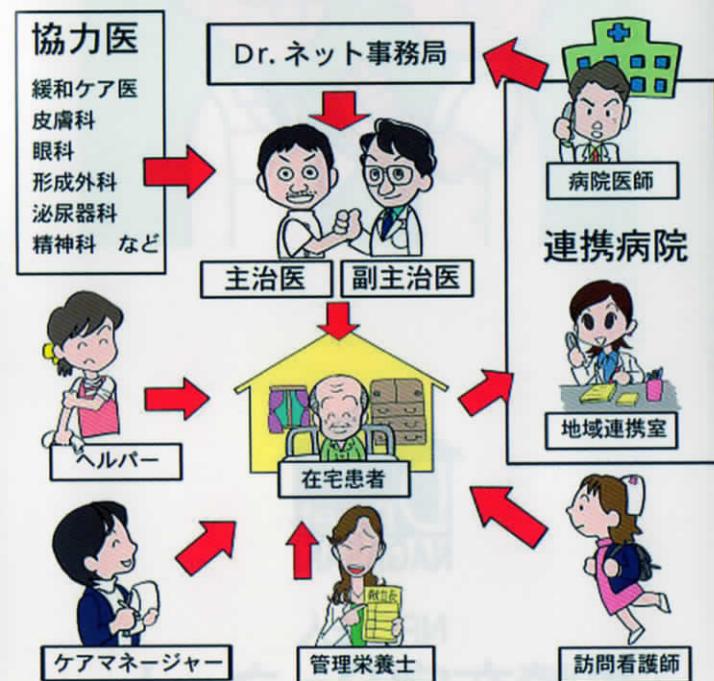
長崎在宅Dr.ネット

〔長崎在宅Dr.ネットとは?〕

病気の治療を、自宅または介護施設で受けたいと希望される患者さんの主治医を見つけ、その在宅療養のサポートをする医師のネットワークのことです。

複数の医師や介護・福祉のスタッフと連携をとりながら、病院の治療に引けを取らない最適な在宅医療を提供します。

長崎在宅Dr. ネットの仕組み



〔長崎在宅Dr.ネットのモットー〕

在宅医療を望む患者さんがいるのに、
医師が対応できないという理由で
自宅に帰れないことがないようにする!

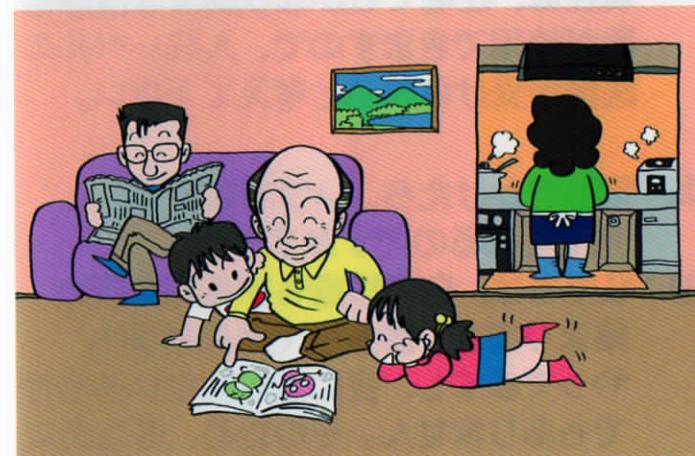
〔長崎在宅Dr.ネットの特徴〕

長崎在宅Dr.ネットの最大の特徴は、在宅診療を複数の医師が連携して行なうことです。具体的には、患者さんの居住地域にあわせて、主治医を決め、さらに副主治医がバックアップとして控え、訪問診療の分担や万が一の際の緊急対応を行ないます。また我々のメンバーには、緩和ケア医・眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科・形成外科・泌尿器科・精神科・婦人科などの専門性の高い開業医（協力医）や病院の医師もいます。難しい疾患の場合は、それらの先生方に相談をして診療をサポートしてもらっています。さらに訪問看護師・ケアマネジャー・ヘルパー・薬剤師・管理栄養士・歯科医にも協力をお願いしてチームを編成し、患者さんが安心して在宅生活を送られるように努力しています。



〔在宅療養では〕

患者さんの生活の場（家庭・地域）で医療やケアを提供して、より質の高い生活を実現させることが目標となります。



「在宅」は「癒しの場」

〔Dr.ネットの歴史〕

2003年3月 発足（開業医13名からスタート）

2008年1月 NPO法人化

2009年12月現在

- ・連携医（主治医・副主治医） 68名
- ・協力医 42名
- ・病院医師 37名

総計 147名